

★提案公募型事業に当センターから3テーマ採択

平成12年度提案公募型事業に、当センターから3テーマが採択されましたので、テーマ名と概要を紹介します。

①「さつまいも機能性飲料の開発」

当センターで開発した「有色さつまいもを全原料とした機能性飲料の製造技術」の実用化プラント開発を行い、さつまいも由来の抗酸化能等の機能性を保持しながら、赤、ロゼ、白タイプの色調とワイン風の香味を持つ飲料の商品化をめざします。

②「地域未利用資源を活用した高品質食物繊維の新規製造技術の確立」

当センターが開発した「澱粉粕から直接食物

繊維を製造する技術」の製造プラントを開発し、保水・保油力に優れた白色度の高い食物繊維の商品化をめざします。この2テーマは、(財)食品産業センター/中小食品産業・ベンチャー育成支援技術開発支援事業で、県内企業と共同で開発を行います。

③「植物資源利用のための水熱反応装置の開発」

これまでの研究で、孟宗竹の繊維分解物には、白血病細胞の増殖を阻害する新規な生理活性が見つかりました。この研究では、植物資源から有用成分を大量に生産するための水熱反応装置を開発します。このテーマは、(財)九州産業技術センター/産学R&D推進助成研究です。

★「電磁波誤動作の検出装置」注目発明に選定

このたび、当センターと鹿児島大学が共同開発した「電磁波による電子機器の誤動作を検出する装置」が科学技術庁の「注目発明」選ばれ、4月26日県庁で選定証伝達式が行われました。

この装置は、電子回路が組み込まれているプリント基板に、電磁波を一定面積ごとに当てることができ、電磁波に弱い部分の探査を効率化することに開発・成功したものです。医療機器などの誤動作が社会問題化する中、その防止に役立つ発明で、県内から同賞に選ばれたのは初めてです。



★平成12年度粘土瓦製造技術講習会の開催

平成12年度粘土瓦製造技術講習会が、当センターの大会議室で6月9日開催され、県内産地(鹿屋地区と日置地区)から粘土瓦製造関係者が参加しました。

今回は、当センターから3名の職員が「屋根下地の木材腐食」、「木材用塗料の耐久性」、「鹿児島の古代粘土瓦」について講演を行いました。また、粘土瓦業界の現状について座談会を行い、多くの意見や情報交換ができました。今後も、両産地は協力しながら高品質な瓦製造を目指していくことを確認しました。

